【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【公表番号】特表2010-530022(P2010-530022A)
【公表日】平成22年9月2日(2010.9.2)
【年通号数】公開・登録公報2010-035
【出願番号】特願2010-512133(P2010-512133)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　5/04　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　59/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　5/04　ＣＦＣ
Ｃ０８Ｇ　59/50

【手続補正書】
【提出日】平成22年9月30日(2010.9.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１０ｋｇのエポキシ樹脂組成物および強化材を成形型に導入すること、および強化材の存在下において成形型内でエポキシ樹脂組成物を硬化させることを含み、エポキシ樹脂組成物が、少なくとも１種のエポキシ樹脂、少なくとも１種の硬化剤および少なくとも１種の促進剤化合物を含み、硬化剤がｇｅｍ－ジ（シクロヘキシルアミン）置換アルカンを含み、促進剤が、第３級アミン化合物、熱活性化触媒、またはこれらの混合物を含み、樹脂トランスファー成形（ＲＴＭ）、真空アシスト樹脂トランスファー成形（ＶＡＲＴＭ）、シーマンコンポジット社の樹脂注入成形法（ＳＣＲＩＭＰ）または反応射出成形（ＲＩＭ）法である、成形された強化コンポジットの製造方法。
【請求項２】
エポキシ樹脂がフェノールのジグリシジルエーテルを含み、該ジグリシジルエーテルが１分子当たり平均で０．１から５個のヒドロキシル基を含み、ｇｅｍ－ジ（シクロヘキシルアミン）置換アルカンが、ビス－（３－アミノシクロヘキシル）メタン、ビス－（４－アミノシクロヘキシル）メタンまたはこれらの混合物であり、促進剤が少なくとも１種の第３級アミン置換フェノール系化合物を含み；ビス－（３－アミノシクロヘキシル）メタン、ビス－（４－アミノシクロヘキシル）メタンまたはこれらの混合物と、（１種または複数の）第３級アミン置換フェノール系化合物との重量比が、約９４：６から８０：２０であり；ビス－（３－アミノシクロヘキシル）メタン、ビス－（４－アミノシクロヘキシル）メタンまたはこれらの混合物が、エポキシ樹脂組成物中に存在する唯一の硬化剤であり、（１種または複数の）第３級アミン置換フェノール系化合物が、エポキシ樹脂組成物中に存在する唯一の促進剤である、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
エポキシ樹脂が、フェノールの少なくとも１種のジグリシジルエーテルを含み、該ジグリシジルエーテルが１分子当たり平均で０．１から５個のヒドロキシル基を含み、硬化剤が、ビス－（３－アミノシクロヘキシル）メタン、ビス－（４－アミノシクロヘキシル）メタンまたはこれらの混合物を含み、促進剤が、エチル－４－トルエンスルホナートまたはプロピル－４－トルエンスルホナートを含み；ビス－（３－アミノシクロヘキシル）メ

タン、ビス－（４－アミノシクロヘキシル）メタンまたはこれらの混合物が、エポキシ樹脂組成物中に存在する唯一の硬化剤であり、エチル－４－トルエンスルホナートまたはプロピル－４－トルエンスルホナートが、エポキシ樹脂組成物中に存在する唯一の（単数または複数の）促進剤である、請求項１に記載の方法。

【請求項４】

強化材が繊維である、請求項１に記載の方法。

【請求項５】

エポキシ樹脂組成物が５重量％未満の溶媒を含む、請求項４に記載の方法。